見榎氏ト 然ル可ク決スベク 持久的抗争ニ決セシ
未ダ工労 幹部ハ 右三名ノ態度ニ 全争議団員ノ
意ニ反スト称シ居リ
尚会社ハ 不穏ノ行動アリトシテ 主謀者タル者ヲ排
斥セシ後 株本清太郎、畑山伝三郎、船岡清三郎ノ
三名ハ 十二日午后四時 北谷地区役所ヘ 辞職ヲ提
出シ会見ヲ得ヘシ、
後労組代表 経過ヲ詳述シ 要求ト堅ク生活権擁護ノ
為メニハ己ムヲ得ザル モノナリト 称シ、諒解ヲ労ムル処
会社ハ未ダ争議ガ不穏ナル 策動ニ因スト宣伝
労資共ニ 感情ニ駆リ、其ノ結果 交渉停頓状
態ニ入ルハ甚ダ遺憾ニ堪ヘズ、争議団ニ於テ速カ
解決ヲ希望スル所ナル旨、尽力サレタキ旨述ヘタリ。

会社側
ハ 引続キ工場閉鎖ヲ継続シ 相当解決ニ至ル迄
ノ気構ナルモ 工労組合幹部ハ 相当軟化シ居ル
モノノ如ク 従テ強硬派ヲ排撃シ 争議ヲ有利ニ展開セシメン
ト策謀中ナリ。
尚会場ノ策動者アリタル処、争議団ハ 平穏ニ解決
ニ努メ、賛成致セズ。

第五報 十二日午后

争議団
十二日 ピケニツクヲ行ヒ 日置工場ニ至リシ処 一首意
後二時ニ於テ 旅費ノ中林電気争議報告、午後三時
以 争議団報告大会ヲ開キ、之ヲ討議セリ。
二十日 対策委員会ヲ本部ニ開キ、